



恵那市教育環境等検討委員会だより

恵那市教育委員会 学校再編対策室

◇令和4年12月20日（火）

恵那市教育環境等検討委員会から教育委員会へ「提言書」が提出されました。

◆提言書◆

はじめに

恵那市教育環境等検討委員会は、急速な少子化に伴う児童及び生徒の人数の減少を踏まえ、より良い教育環境の整備及び充実を検討するために設置されました。その中でも、恵那南地区の望ましい教育環境に関することについて検討しました。

これまで、恵那南地区の教育環境については、平成27年度に恵那南地区の中学校再編について検討する「恵那南地区中学校再編委員会」が設置され、平成28年3月に「恵那南地区中学校再編における答申書」が教育委員会に提出されました。

答申書の内容は

◎学校統合の場所について

1校に統合し平等性を考え、山岡地区に新築とする。

◎学校統合の時期について

統合に要する期間を考慮し、平成33年度の開校を目指す。

というものでした。しかし、今だ、実現されていません。当委員会の役割として「早急に、恵那南地区中学校の統合を進める。」ことが委員会の総意となりました。当委員会では答申書を基に、子どものことを一番に考え、現状に合わせた内容で検討しました。

ここに恵那南地区の望ましい教育環境として次の事項について、提言致します。

【提言事項】

早急に、恵那南地区中学校の統合を進める。

1. 新中学校の場所については、当初の答申で示された山岡町で1校とし、いち早く進めるために、既存の山岡中学校を活用すること。
2. 開校時期については、生徒数の減少による教育環境の変化の影響を考慮し、令和8年度の開校とすること。
3. 遠距離通学者の通学方法については、生徒の安心・安全と保護者の送迎の負担軽減を考慮しスクールバスの通学を基本とすること。
4. 統合に向け、恵那南地区中学校統合準備委員会を早急に設置すること。

以上の4項目を基本とし、未来を担う子ども達の能力を最大限に伸ばす、日本一の学校づくりに取り組むことを提言します。

恵那市教育環境等検討委員会

委員長 額額 佳恭



◇今後のスケジュール

令和5年1月から、恵那南地域5地域の保護者、地域対象に説明会を開催します。

（内容）

- ・提言内容の報告（経緯含む）
- ・今後の統合までのスケジュール

※説明会の日程については、後日、学校等を通じて、お知らせいたします。

【この「たより」は、恵那市教育環境等検討委員会の動きをみなさんに広くお知らせしていくものです。】